

## 産業廃棄物等に係る意識調査票

宛名シール貼付欄

【 処理業者向け 】

## 問1. 優良産廃処理業者認定制度について

平成23年4月から、国の「優良産廃処理業者認定制度」が施行されています。この制度は、優良基準（遵法性、事業の透明性、環境配慮の取組、電子マニフェスト、財務体質の健全性）に適合する産業廃棄物処理業者を都道府県知事・政令市長が認定するもので、認定を受けると、①優良マークの付いた許可証等を活用したPR、②許可の有効期間が7年に延長、③申請時の添付書類の一部省略、④財政投融资における優遇、⑤環境配慮契約法に基づき国等が行う産業廃棄物の処理に係る契約での有利な取扱などのメリットがあります。  
※環境省ホームページ（<http://www.env.go.jp/recycle/waste/gsc/>）

- 1) 貴事業所では、本制度の認定を受けていますか。また、今後、認定を受ける予定はありますか。該当する番号に一つ○印をつけてください。

1. 既に認定を受けている（申請中を含む） → 問2へ  
2. 予定がある  
3. 予定はない  
4. わからない

上記「3. 予定はない」に○印を付けられた方に、差し支えなければその理由をご記入ください。

- 2) 貴事業所では、ISO14001※1、エコアクション21※2といった環境マネジメントシステムに関する認証を取得していますか。また、今後、これら制度の認証取得の予定がありますか。下記の表の該当する欄に○印をつけてください。

	取得済	取得予定
ISO14001		
エコアクション21		
その他（ ）		

※1 ISO14001とは、汚染の防止と環境保全を目的とした国際的な環境マネジメントシステム

※2 エコアクション21とは、環境省が策定した日本独自の環境マネジメントシステム

上記表のいずれにも○印を付けられなかった方に、差し支えなければその理由をご記入ください。

**問2.** 中間処理後産業廃棄物の県外処分について

1) 中間処理業者の方にお聞きします。中間処理後産業廃棄物の処分方法の割合を教えてください。

1. 最終処分 (約       %)	3. 再生利用 (約       %)
2. 中間処理 (約       %)	4. その他 (約       %)

2) 貴事業所では、中間処理後産業廃棄物を県外処分することがありますか。該当する番号に一つ〇印をつけてください。

1. 県外処分することがある  
2. 県外処分はしていない → 問5へ

3) 上記2)で、「1. 県外処分することがある」に○印をつけた方にお聞きます。それは主にどんな種類ですか。該当する番号に○印(2つまで)をつけてください。

1. 燃え殻	8. 木くず	15. がれき類
2. 汚泥（有機、無機）	9. 繊維くず	16. 動物系固形不要物
3. 廃油	10. 動植物性残さ	17. ばいじん
4. 廃酸	11. ゴムくず	18. 混合物・複合物
5. 廃アルカリ	12. 金属くず	19. 13号廃棄物
6. 廃プラスチック類	13. ガラス・コンクリート・陶磁器くず	20. 水銀使用製品産業廃棄物
7. 紙くず	14. 鋳さい	21. その他
		(具体的に： )

4) 上記2)で「1. 県外処分することがある」に○印をつけた方にお聞きします。それはどういう理由ですか。該当する番号に○印(2つまで)をつけてください。

<p>１．料金が安い</p> <p>２．運搬距離が短い</p> <p>３．利用しやすい（搬入受付時間・曜日の面等）</p> <p>４．安全性が高い</p>	<p>５．信頼性が高い</p> <p>６．県内に処分できるところがない</p> <p>７．その他 （具体的に：                      )</p>
---	--

問3. 廃棄物情報の受け取りについて

排出事業者は、委託する産業廃棄物の適正な処理のために、性状や取り扱う際の注意事項等の必要な情報を処理業者に提供しなければならないことが、廃棄物処理法（規則第8条の4の2第6号）で定められています。貴事業所では、排出事業者からどのような手段で情報の提供を受けていますか。該当する番号に一つ○印をつけてください。

1. 委託契約書の中に盛り込んでいる
2. 環境省の廃棄物データシート（WDS：Waste Data Sheet）※を使用している
3. 自社の廃棄物データシートを使用している
4. その他（具体的に： ）

※環境省「廃棄物情報の提供に関するガイドライン」(<https://www.env.go.jp/recycle/misc/wds/>)

**問4. 産業廃棄物税について**

県では、平成17年4月1日から「産業廃棄物税」を導入しています。排出事業者が負担する税であり、その税収は ①排出の抑制及び再利用、再生利用の推進、②適正処理の促進、③啓発や活動の促進 の3つを柱とする施策に充てています。現行の税制度について、貴事業所ではどのようにお考えですか。該当する番号に一つ〇印をつけてください。

- |  |
|--|
| 1. 排出抑制、埋立処分抑制に一定の効果があり、現行の内容で存続すべきである |
| 2. 社会情勢等の観点から存続はやむを得ない                 |
| 3. 排出抑制、埋立処分抑制に効果がないので廃止すべきである         |
| 4. 更なる排出抑制を図るため、焼却処理にも課税すべきである         |
| 5. その他（具体的に： _____）                    |

※税制度・用途等については、県のホームページの税務課のサイトをご覧ください。

**問5. 施設見学等の受入について**

貴事業所では、施設見学等の受入を実施していますか。該当する番号に一つ〇印をつけてください。

- |           |            |
|-----------|------------|
| 1. 実施している | 2. 実施していない |
|-----------|------------|

**問6. 今後の資源循環、廃棄物処理事業・分野について**

廃棄物・副産物等の循環的利用（再使用・再生利用、熱回収）及び適正処理に関して、今後、貴事業所で新たに取り組みたい、あるいは力を入れていきたい事業・分野がありますか。該当する番号（2つまで）に〇印をつけてください。

- |   |
|---|
| 1. リターナブル容器・食器等を活用したリユース事業                      |
| 2. 事業系一般廃棄物（オフィス古紙、食品残さ等）の広域リサイクル事業             |
| 3. 製造業者との提携による使用済み製品等の回収・リサイクル事業                |
| 4. 廃棄物・副産物等を原料とするエコ燃料化事業<br>(BDF、RDF、バイオエタノール等) |
| 5. 木質バイオマス、廃棄物発電等による熱・エネルギー回収事業                 |
| 6. 食品残さ等の飼料化等による食品ロス削減事業                        |
| 7. 既存リサイクル事業の拡充（協業化、再生品の品質向上・マーケティング等）          |
| 8. 既存処理事業の拡充（種類・事業範囲の拡大、協業化、施設の大型化・高度化等）        |
| 9. 廃棄物処理・リサイクル事業の海外展開                           |
| 10. その他（具体的に： _____）                            |

問7. 県の廃棄物関連施策について

県では、廃棄物処理計画に掲げる目標達成のため、様々な施策に取り組んでいます。今後どのような施策に力を入れるべきだと思いますか。該当する番号(3つまで)に○印をつけてください。

1. 発生した廃棄物は、発生地域内で適正に処理する処理体制の整備
2. 未利用資源・廃棄物系バイオマスの地域内利用・活用の促進・支援
3. 産業廃棄物の発生状況、処理施設、処理・処分状況等についての情報公開
4. 産業廃棄物処理業者に対する監視・指導体制の強化
5. 不法投棄等に対する迅速な対応と厳しい取り締まり
6. 優良な産業廃棄物処理業者の支援と育成
7. 産業廃棄物処理についての県民の知識と理解を深めるための啓発活動
8. 廃棄物処理法などの法令に関する研修・情報提供等
9. 減量化、リサイクルに関する情報発信
10. 県によるリサイクル製品の認証
11. グリーン購入の推進
12. 減量化、リサイクルに関する研究・施設整備等への補助
13. レジ袋削減、食品ロス削減など地域・関係団体等による取組みの促進・支援
14. その他（具体的に： \_\_\_\_\_）

問8. 人材について

- 1) 貴事業所において、現在の従業員の過不足感はいかがですか。該当する番号に一つ○印をつけてください。

- |            |             |
|------------|-------------|
| 1. 過剰である   | 4. やや不足している |
| 2. やや過剰である | 5. 不足している   |
| 3. 適当である   |             |

- 2) 上記1)で「4.やや不足している」「5.不足している」に○印をつけた方にお聞きします。どのような理由で人手不足が考えられるでしょうか。該当する番号(いくつでも)に○印をつけてください。

- |                        |                       |
|------------------------|-----------------------|
| 1. 賃金が低い               | 7. 新規採用者の確保が困難        |
| 2. 勤務時間が長い             | 8. 職業としての魅力が低い        |
| 3. 仕事の内容が厳しい           | 9. 技術者・有資格者・運転手の確保が困難 |
| 4. 休日が少ない              | 10. 人手を補充する余裕がない      |
| 5. 労働環境が良くない           | 11. その他 _____         |
| 6. 従業員が定着しない（すぐ辞めてしまう） | （具体的に： _____）         |

- 3) 上記1)で「4.やや不足している」「5.不足している」に○印をつけた方にお聞きします。人手不足を解消するために、新たに採用した(してみたい)人材等はいいますか。該当する番号(いくつでも)に○印をつけてください。

- |               |               |
|---------------|---------------|
| 1. 高齢者（65歳以上） | 4. 女性         |
| 2. 外国人労働者     | 5. ロボット、AI等   |
| 3. 障がい者       | 6. その他 _____  |
|               | （具体的に： _____） |

## 問9. 廃棄物処理に係るデジタル化について

- 1) 昨今の人材不足解消や、サーキュラー・エコノミーへの転換のため、廃棄物処理等のシステム強化や効率化に向け、事業者のデジタル・トランスフォーメーション化が進んでいます。貴事業所で既に導入しているIT技術と今後新たに導入したいと考えているIT技術について、該当する番号(複数可)それぞれに○印をつけてください。

	既に導入	今後導入したい
電子マニフェスト	1	1
遠隔カメラによる場内の監視	2	2
電子契約	3	3
センサーによる異常検知	4	4
自動トラックスケール導入による計測(省人化)	5	5
画像認識カメラによる車両管理	6	6
センサーや画像認識カメラによる選別	7	7
オンラインでの施設見学、処理状況の確認等	8	8
その他(具体的に： )	9	9

- 2) 新たな新たなIT技術を導入するにあたっての阻害要因は何がありますか。該当する番号(複数可)に○印をつけてください。

1. 初期費用が高額であること 2. どの技術が自社に導入可能なのかが分からない 3. 事業採算性が分からない 4. 技術を扱う人材の不足 5. そもそもどういう技術があるのか分からない 6. ランニングコストが高額であること 7. 導入効果について、信頼できる情報がない 8. 周囲での成功事例がなく、導入に踏み込めない 9. その他(具体的に： ) 10. 特になし・IT技術の興味がない
---

## 問10. サーキュラーエコノミーへの転換について

- 1) サーキュラーエコノミー(循環経済)とは、従前の大量生産・大量消費を前提とする経済から脱却した資源の循環を柱とする新たな経済システムのことであり、EUが2015年に採択した「EU新循環経済政策パッケージ」で提唱された概念で、欧州では既に多くの政府が国家政策の軸に据えて取組を進めています。日本でも2030年までに循環経済関連ビジネスの市場規模を、現在の約50兆円から80兆円以上にするという目標を掲げています。  
貴事業者のサーキュラーエコノミーに基づく処理技術の導入状況について、該当する番号に一つ○印をつけてください。

1. 導入していない 2. 一部導入している (具体的に： ) 3. 完全に導入している (具体的に： )
---

- 2) サークュラーエコノミーを促進していくにあたり、どのような支援が有効であると考えますか。該当する番号に○印(複数回答可)をつけてください。

- |           |               |
|-----------|---------------|
| 1. 資金援助   | 4. 教育・訓練プログラム |
| 2. 技術サポート | 5. マーケティング支援  |
| 3. 法規制の緩和 | 6. その他        |
| (具体的に: )  |               |

**問11. 太陽光パネルの処理について**

- 1) 2012年以降のFIT制度導入後多くの太陽光パネルが設置されてきましたが、昨今はその太陽光パネルの廃棄量が増加してきていると言われ、今後も増加する見込みとなっています。貴事業者では、このような太陽光パネルの処理を行っていますか。該当する番号に○印をつけてください。

- |                          |                      |
|--------------------------|----------------------|
| 1. 太陽光パネルの処理をしている        | →令和5年度の処理実績 ( ) t 程度 |
| 2. 現状は処理していないが、今後処理を行う予定 | (具体的に: )             |
| 3. 処理していない               |                      |

- 2) 上記1)で、「1」、「2」のいずれかに○印をつけた方にお聞きします。処理を実施(予定)するにあたり、課題と感じていることや県への要望があれば自由に記載ください。

**問12. 小型家電の処理について**

- 1) 貴事業者では、小型家電の処理を行っていますか。該当する番号に○印をつけてください。

- |                          |                      |
|--------------------------|----------------------|
| 1. 小型家電の処理をしている          | →令和5年度の処理実績 ( ) t 程度 |
| 2. 現状は処理していないが、今後処理を行う予定 | (具体的に: )             |
| 3. 処理していない               |                      |

- 2) 上記1)で、「1」、「2」のいずれかに○印をつけた方にお聞きします。処理を実施(予定)するにあたり、課題と感じていることや県への要望があれば自由に記載ください。

**問13. Japan Advanced Semiconductor Manufacturing株式会社(JASM)立地に伴う廃棄物排出に関する影響について**

- 1) 2024年にJASMの進出を受け、貴事業所では、廃棄物等の処理量にどの程度影響がありましたか。該当する番号に○印をつけてください。

- |            |        |
|------------|--------|
| 1. 処理量が増えた | → 2) へ |
| 2. 処理量が減った |        |
| 3. 特に変わらない |        |

- 2) 上記1)で、「1. 処理量が増えた」に○印をつけた方にお聞きます。その影響で、新たな処分・リサイクルの取り組みの予定はありますか。該当する番号に○印をつけてください。

1. 予定がある（具体的にどのような予定がありますか：）  
2. 予定はない  
3. わからない

**問14. プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律について**

- 1) 国では令和元年に「プラスチック資源循環戦略」を策定し、令和4年からは「プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律」が施行され、廃プラスチックの排出抑制と再資源化の取り組みの促進が図られています。

貴事業所において、処理に関して何か変わったことはありましたか。該当する番号に○印（複数回答可）をつけてください。

プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律では、事業者は、その事業活動に伴い生ずるプラスチック使用製品産業廃棄物等を適正に処理する責任を有していますが、加えて、一層のプラスチックの資源循環の促進のため、積極的なプラスチック使用製品産業廃棄物等の排出の抑制・再資源化等が求められています。

1. 廃プラスチック類の受入れ量が増加した  
2. 廃プラスチック類の受入れ量が減少した  
3. 廃プラスチック類の処理相談が増えた  
4. 廃プラスチック類は受け入れていない  
5. その他（具体的に：）

- 2) プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律施行に伴い、廃プラスチックの処理に関し、新たな取り組みを行ったことはありますか。

1. ある（具体的に：）  
2. ない  
3. 分からない

**問15. 食品廃棄物に対する取組について**

- 1) 国では令和元年に「食品ロスの削減の推進に関する法律」が施行され、食品ロスの削減を総合的に推進しています。

貴事業所において、処理に関して何か変わったことはありましたか。該当する番号に○印（複数回答可）をつけてください。

食品ロスの削減の推進に関する法律では、事業者は、その事業活動に関し、国又は地方公共団体が実施する食品ロスの削減に関する施策に協力するよう努めるとともに、食品ロスの削減について積極的に取り組むよう努めるものとするものと定められています。

1. 食品廃棄物の受入れ量が増加した  
2. 食品廃棄物の受入れ量が減少した  
3. 食品廃棄物の処理相談が増えた  
4. 食品廃棄物は受け入れていない  
5. その他（具体的に：）

2) 食品ロスの削減の推進に関する法律施行に伴い、新たな食品廃棄物の処理に関し、新たな取組みを行ったことはありますか。

1. ある（具体的に： \_\_\_\_\_）
2. ない
3. 分からない

**問16.** 最終処分について

貴社が産業廃棄物を最終処分する際、最終処分場について困っていることはありますか。該当する番号に○印をつけてください。

また、困っている場合はその理由も該当する番号に○印(複数回答可)をつけてください。

1. 困っている
- 困っている要因： 1.処分量が高額    2.処分場が遠い    3.受け入れ基準が厳しい  
4.その他  
（具体的に：
2. 困っていない

問17. 最終処分場について（最終処分場を設置している事業者のみお答えください）

1) 貴社が所有する最終処分場について、施設の残余年数は、あとどれくらいありますか。該当する番号に○印をつけてください。

1. 20年以上
2. 10年以上20年未満
3. 5年以上10年未満
4. 5年未満
5. 残余容量なし

2) 残余容量がなくなった場合、どのような計画で施設整備しますか。該当する番号に○印をつけてください。

1. 新たに用地を取得し、施設を新設する
2. 既取得の用地を活用し、施設を新設する
3. 既存の施設を改修等（嵩上げを含む）により延命化する
4. 未定
5. その他（具体的に： ）

**問18.** 新型コロナウイルス感染症の影響について

貴事業所では、新型コロナウイルス感染症によるコロナ禍の前後で、ごみの処理量に変化がありましたか。該当する番号に一つ〇印をつけてください。

1. 処理量が増加した
2. ほぼ変わらない
3. 処理量が減少した